



平成22年度せたな町国際交流のつどい！！



◀ 茶道体験

8月17日（火）～28日（土）までの12日間、中国・香港・韓国・台湾・ブルネイ・アメリカから7名の留学生がせたな町に来町し、北檜山区内の各ご家庭（ホストファミリー宅）で過ごしました。

滞在期間中は、北檜山いきがい学園との交流事業や島歌小学校・小倉山小学校・若松小学校との学校交流に参加し、学園生や児童と触れ合いました。

また、町内を視察し、せたな町の歴史や伝統文化を学んだほか、茶道体験や陶芸体験を行い、日本の文化や風習を学びました。



◀ 小倉山小学校児童との交流

「町民歩こう会：瀬棚会場」開催します！

「町民歩こう会」第2弾が瀬棚区を会場に開催されます。皆さんお気軽にご参加ください。

●日 時 10月10日（日）

午前9時30分までに瀬棚総合支所前に集合してください。

●コース 馬場川源流ハイキング（所要時間120分）

●参加料 1人300円

●申込み 10月5日（火）まで（生涯学習課または瀬棚教育事務所へ）

●服 装 歩きやすい靴・服装でご参加ください。

●昼 食 昼食時にジンギスカン・お茶の準備をします。

（おにぎり等必要な方は持参してください）

●その他

・最少催行人員は10名とします。

・雨天時および申込者が10名に満たない場合は、中止となります。



プ リ ズ ム

▼9月22日は、旧暦（太陰太陽暦）でいうと8月15日、十五夜さん。中秋の名月である。ススキや月見だんごを供え、観月を楽しまれた方々もおられたでしょう。月は、昔から人々にとって、手は届かないが、身近な存在であったようだ。

▼日本では、竹取物語の「かぐや姫」、今昔物語集の「月の兎」をはじめ、「兎の餅つき」などの民話が伝承されてきた。月と兎の連想は日本以外でも見られる。そもそも由来はインドの古い説話集からとされ、中国でも月のことを玉兎（ぎよくと）と呼んでいたようである。

▼また、西洋では、月面の模様をカニの姿や編み物をする老婦人、アメリカの先住民は、女性の顔と見る慣習があるとのこと。さらに、月と人類の歴史は神話の世界にもさかのぼる。ローマの月の女神はダイアナ、ギリシャではアルテミスなど。

▼その月の女神に会いに地球から飛び立ったのが、太陽の神アポロ。1969年、アポロ11号の月面に到着時、アームストロング船長は二人の人間にとっては小さな一歩だが、人類にとっては大きな飛躍である。」との名言を残した。

▼あれから41年、今や日本人宇宙士も8名を数える。また、約60億kmもの宇宙空間の長旅を終え、7年ぶりに地球に帰還した小惑星イトカワ探査機「はやぶさ」の快挙は、日本の宇宙技術が「世界の最先端」との評価を裏付けているものである。

▼近い将来、せたな町からも、宇宙飛行士や宇宙工学に携わる人材が輩出されれば：との期待を肴に、遙か眺める月見酒も乙なものですね。えっ？今宵の月の形ですか？それは、「おにおにし」の呪文で：ちちんぷいぷい



「カヌー川下り体験」(B & G 瀬棚海洋クラブ事業)



8月29日(日)、後志利別川で「カヌー川下り体験」が行なわれました。

この体験会は、カヌーの楽しさや自然の美しさを知ってもらうとともに、水の事故ゼロ運動の推進を目的として実施されました。当日は、天気にも恵まれ、小学生7名・中学生3名の参加者と指導者7名でカヌーと自然を満喫しました。

フライングディスク教室(放課後活動促進事業)



9月1日、2日、せたな町民体育館で北檜山区の小学生を対象にフライングディスク教室が行われ、2日間とも北檜山小学校の児童が10名以上集まりました。

最初はディスクをうまく飛ばすことが出来ない子供たちばかりでしたが、練習するうちに、ほとんどの子供たちがまっすぐ飛ばせるようになりました。

暑い体育館の中で汗をかきながら、みんな楽しそうにディスクを飛ばしていました。

せたな町合併5周年記念

「文化講演会」～元気でいきんしゃい～

講師：島田洋七さん(タレント)

- 11月17日(水)午後7時から午後8時30分
- せたな町民ふれあいプラザ

「佐賀のがばいばあちゃん」
でおなじみの島田洋七さん
がやってくる!!



読書普及講演会

「西川つかさ」講演会

- 11月9日(火)午後7時から午後8時30分
- 大成町民センター

西川つかささん

小学4年生まで旧大成町、小学5年生から中学2年生の秋まで旧北檜山町で過ごし、23歳のとき「まんが日本昔ばなし」で作家デビュー。人気番組の放送作家として幅広く活躍中。著書に「ひまわりのかっちゃん」



■問い合わせ■

生涯学習課
☎0137-84-5111

瀬棚教育事務所
☎0137-87-3322

大成教育事務所
☎01398-4-5511

情報センター 24時間トイレの利用について



せたな町情報センターに設置している「24時間トイレ」の利用について、これまで、下記のような状況が見受けられます。

- ◆ゴミが放置されている。
- ◆タオル・石鹸・芳香剤等が紛失している
- ◆ペーパータオルが複数枚、未使用のまま捨てられている
- ◆タバコの吸殻やゴミが便器内に捨てられている
- ◆タオルかけや便座がはずされている等の破損が見られる

誰もが快適に利用できるよう、マナーを守って利用しましょう。